

2010年2月10日

木材業景況調査結果

第305回（平成22年1月分）

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

1月は、季節的な要因として稼働日数の減少の影響もあり、流通・製造部門とも、販売量、仕入量は前月より減少した。また、価格については、流通・製造部門とも販売価格は変わらず、仕入価格は流通部門では変わらず、製造部門では上昇した。

2月は、販売量については、流通部門では増加の見通しであるが、製造部門では変わらずの見通しである。仕入量は流通・製造部門とも変わらずの見通しである。また、価格については、流通・製造部門とも販売価格、仕入価格は変わらずの見通しである。

3ヵ月後の相場予想については、米材、南洋材、北洋材は流通部門では保ち合い予想であるが、製造部門では強含み予想となり、やや変化が見られる。国産材については、流通・製造部門とも保ち合い予想である。また、建材は保ち合い予想である。

流通部門における「乾燥材取引の頻度」については、乾燥材の一定の取引は定着していると見られるが、全体の傾向と同様に「変わらず」の回答が主体となっている。

プレカット工場の操業状況は横這い推移となっている。

平成22年1月分集計表

()内は実数

〔流通部門〕モニター数108 回答数65 回収率60%

当月の状況

販売量	増加15%(10)	変わらず39%(25)	減少46%(30)
仕入量	増加22%(14)	変わらず35%(23)	減少43%(28)
販売価格	上昇2%(1)	変わらず90%(59)	下降8%(5)
仕入価格	上昇5%(3)	変わらず90%(59)	下降5%(3)

来月の見通し

販売量	増加34%(22)	変わらず44%(29)	減少22%(14)
仕入量	増加29%(19)	変わらず48%(31)	減少23%(15)
販売価格	上昇3%(2)	変わらず89%(58)	下降8%(5)
仕入価格	上昇9%(6)	変わらず86%(56)	下降5%(3)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	16%(9)	79%(44)	5%(3)
南洋材	16%(8)	76%(38)	8%(4)
北洋材	13%(7)	74%(40)	13%(7)
国産材	15%(9)	73%(44)	12%(7)
建 材	20%(10)	76%(38)	4%(2)

乾燥材取引の頻度	増加	変わらず	減少
	26%(16)	72%(44)	2%(1)

〔製造部門〕モニター数117 回答数73 回収率62%

当月の状況

販売量	増加19%(14)	変わらず28%(20)	減少53%(38)
仕入量	増加17%(12)	変わらず36%(26)	減少47%(34)
販売価格	上昇3%(2)	変わらず76%(55)	下降21%(15)
仕入価格	上昇28%(20)	変わらず65%(46)	下降7%(5)

来月の見通し

販売量	増加25%(18)	変わらず51%(37)	減少24%(17)
仕入量	増加26%(19)	変わらず52%(37)	減少22%(16)
販売価格	上昇8%(6)	変わらず88%(63)	下降4%(3)
仕入価格	上昇22%(16)	変わらず71%(51)	下降7%(5)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	33%(10)	64%(19)	3%(1)
南洋材	39%(9)	57%(13)	4%(1)
北洋材	48%(12)	48%(12)	4%(1)
国産材	20%(12)	54%(33)	26%(16)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	92%(12)	8%(1)	0%(0)